

小泉八雲の 妖又土への まなざし

LAFCADIO HEARN:
VISIONS OF
THE SUPERNATURAL

The 170th Anniversary of the Birth of Lafcadio Hearn &
The 130th Anniversary of His Arrival in Japan and Matsue

超自然的世界への入り口、 怪談創作の舞台裏。



● 八雲の怪談作品の多くには、原話が存在しています。その貴重な江戸から明治初期にかけての和装本が富山大学附属図書館のヘルン文庫（八雲の蔵書約2400冊を所蔵）に残されており、八雲の再話作品創作の秘密を知る上で、大きな手がかりとなっています。

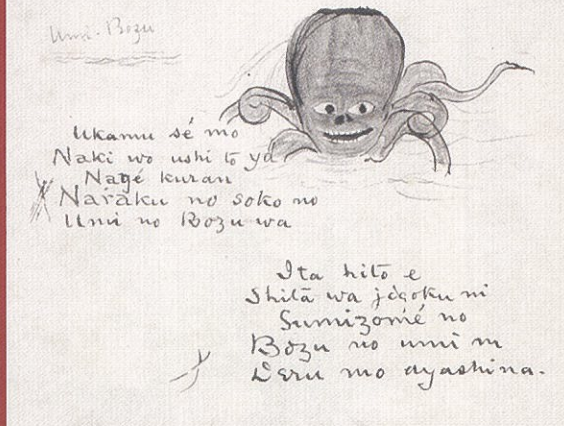
● 「再話」とは伝承説話を現代的にリライトすることで、八雲の場合は原話を肉付けしたり拡大したりして、怪談としての不気味さや芸術的な効果を高める工夫が凝らされたものが多くみられます。

● また、八雲の没後に発見された遺稿の中に、『狂歌百物語』から14種の日本の妖怪たちを選んで描いた自筆イラストがありました。それらは長男の英雄によって『小泉八雲秘稿画本 妖魔詩話』（小山書店）としてまとめられ出版されたのですが、ここに登場する八雲好みの妖怪たちが、怪談作品の主役や脇役になっているのが垣間見えて面白いのです。

● 再話文学というジャンルで遺憾なく発揮された、小泉八雲の怪談創作の舞台裏を紐解いてみたいと思います。



2



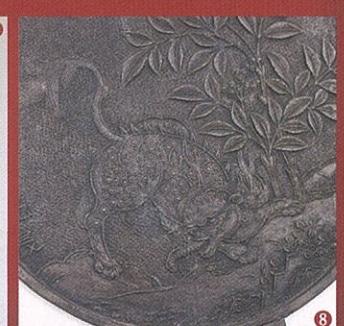
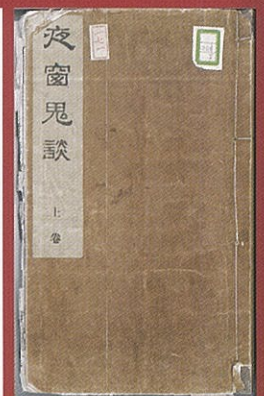
© 水木プロダクション

3



[JR 松江駅から] ●ぐるっと松江レクリンバス約16分「小泉八雲記念館前」下車 ●路線バス約14分「塩見縄手」下車、徒歩5分 ●路線バス約20分「塩見縄手入口」下車、徒歩1分
[一畑電車松江しんじ湖温泉駅から] ●徒歩約20分
P 専用駐車場はございませんので、最寄りの駐車場をご利用下さい。

- 1 天狗（狂歌百物語 巻二）
- 2 八雲自筆（ヘタカミ）（小泉八雲秘稿画本 妖魔詩話）
- 3 水木しげる海坊主（4）八雲自筆（ウミボウズ）（小泉八雲秘稿画本 妖魔詩話）
- 4 海坊主（狂歌百物語 巻二）
- 5 夜窓鬼談（上巻の表紙）
- 6 「ろくろ首」（怪談）の原典となった「轆轤首怖念却報福話」（浮世異談 巻四）
- 7 雨天と狼（八雲の妻と遺愛の手鏡）
- 8 大津絵の鬼（八雲遺愛の手鏡）
- 9 所蔵富山大学附属図書館（1）（2）（3）（4）（5）（6）（7）（8）（9）、水木プロダクション（10）



イベント等の最新情報は、小泉八雲記念館のウェブサイト、SNSで順次お知らせします。
www.hearn-museum-matsue.jp